

原料費調整制度に基づく平成30年10月分の調整額について

諏訪瓦斯株式会社

「原料費調整制度」とは、輸入原料価格の変動を迅速にガス料金へ反映することを目的とし、輸入原材料の価格変動に応じてガス料金を調整する制度です。基準として設定した原材料の「基準平均原料価格」と貿易統計価格の3ヵ月ごとの「平均原料価格」とを比較し、その変動分を単位料金(1m³あたりの単価)で毎月調整します。

今回の調整は、平成30年5月から平成30年7月の平均原料価格に基づくものです[原料費調整のイメージ]

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
3ヵ月の平均原料価格			→ 反映				
			→ 反映				
			→ 反映				
			→ 反映				

○平成30年10月検針分に適用される料金表[一般契約]

(税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (1か月あたり)	調整単位料金(1m ³ あたり)	
			平成30年9月検針分	平成30年10月検針分
料金表 A	0 m ³ から 11 m ³ まで	772.20 円	194.17 円	195.34 円
料金表 B	11 m ³ 超～115 m ³ まで	874.80 円	184.87 円	186.04 円
料金表 C	115 m ³ 超～	1,925.64 円	175.73 円	176.90 円

○調整額の算定 **基準平均原料価格 38,910円/トン**

平成30年5月から30年7月のLNG輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	55,700 円/トン(10円未満四捨五入)
平成30年5月から30年7月のプロパン輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	61,560 円/トン(10円未満四捨五入)
平均原料価格の算出 55,700 円/トン×0.9771 +61,560 円/トン×0.0474	57,340 円/トン (10円未満四捨五入)
原料価格変動額の算定 (平均原料価格－基準平均原料価格)	57,340 円 - 38,910 円 = <u>18,400 円/トン</u> (100円未満切り捨て)
原料価格1トンにつき100円変動した場合のガス料金1m ³ あたりの価格変動額	0.077 円
平成30年10月分検針の調整額(1m ³ あたり)	18,400 円×0.077 円÷100×1.08 = <u>15.30 円</u> (税込) (小数点第3位切り捨て)
平成30年9月分検針の調整額(1m ³ あたり)	14.13 円(税込)
(10月分)対(9月分)増減(1m ³ あたり)	<u>+1.17 円(税込)</u>

平成30年10月分の単位料金を1m³あたり +15.30円(税込)調整させていただきます。

○標準一般家庭における影響額

(税込)

1か月のご使用量	平成30年9月分料金	平成30年10月分料金	影響額
20m ³	4,572円	4,595円	+23円